

その生き物たちで お困りですか!?

野生動物・特定外来生物から私たちの生活を守るために

大切に育てた農作物を狙うシカ・イノシシ・サル、人の住むまちに現れゴミ集積所などを荒らすアライグマ。そんな動物たちを紹介するとともに、それぞれの生態や及ぼす影響について考えます。



田畑を荒らす野生動物

シカ



特徴

- 植物ならなんでも食べる
- 高いジャンプ力を持つ
 - ▶2m程度の柵なら飛び越えられます
- かむ力が強い
 - ▶ネットなどは奥歯でかみ切ります

影響

- 田植え後の稲、野菜の苗などあらゆる農作物を食べ荒らす

イノシシ

特徴

- 学習能力が高い
 - ▶エサがある場所をよく覚えます
- 鼻で持ち上げる力が強い
 - ▶70kg程度の石も動かす力があります

影響

- エサを探すために収穫前の田を掘り起こす
- 食害だけでなく、ミミズを探すために整地された田を掘り起こす



ニホンザル



特徴

- 記憶力が高い
 - ▶エサがある場所や安全な場所をよく覚えます
- 運動能力が高い
 - ▶数ミリの突起があれば壁でも登れます

影響

- 少しじつただけで、次の農作物に手を出すため、被害が大きくなる
- 群れで行動するため、短時間で大きな被害が出る

一人ひとりが正しい知識と対策を



私が猟友会に入会して50年以上経ち、当時は700人程いた会員は、現在では105人となり、狩猟するハンターは高齢化しているのが現状です。

昔は、山の奥で猟をしていましたが、現在の狩猟場所は山の麓です。里山での人の活動が減少し、耕作放棄が増加したことが原因で、生き物たちは山奥から下りてきて、人が廃棄した農作物をエサにしたり、放置された田畑をすみかにしたりしています。

一人ひとりが正しい知識を持ち、地域ぐるみで獣害が出にくい環境をつくっていくことが大切です。



猟友会会長
正岡茂さん

被害を減らすために

- ✓ 耕作放棄地や茂ったやぶ・竹林など、野生動物が隠れられる場所を減らす
- ✓ 「無意識の餌付け」をなくす (収穫していない果実や収穫後に残った作物などをそのままにしない)
- ✓ 電気柵などを正しく設置し、メンテナンスを確実にを行う

特定外来生物

もともとその地域に生息しておらず、人間の活動によって外国から入ってきた生き物で、特に、生態系や人の健康などに悪影響を与えるものを「特定外来生物」と言います。

アライグマ

識別ポイント

茶色と黒のしま模様のしっぽを持つ



特徴

- 体長40~70cm
- 夜行性
 - ▶昼間は家屋の屋根裏や作業小屋などにいます
- 木登りや泳ぎが得意
 - ▶水辺を好み、用排水路やふたのある側溝を移動します
- 雑食性で、植物、魚類、昆虫などさまざまなものを食べる

影響

- 果物、野菜、穀物を食い荒らす
- 屋根裏や軒下に侵入する

予防策

- 生ごみなど餌となる物を放置しない・与えない
- 侵入口をふさぐなど家屋に入らせない環境を作る

ヌートリア



- 体長は40~60cmで、しっぽを含めると70~100cm
- オレンジ色の長く鋭い前歯がある

セアカゴケグモ



- 毒を持っているのはメスだけ
- 足を除いたメスの体長は1cm前後
- メスは背中に赤い模様がある

生き物によって相談先が変わります

イノシシ・シカ・サルの被害で困っています…

農水振興課農水畜産係
☎ 354-8182 FAX 354-8307

アライグマなど特定外来生物の被害で困っています…

環境政策課環境企画係
☎ 354-8188 FAX 354-4412

どこに
相談したらいいの?

